

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桂小学校	階数	地上3F
建設地	大阪府八尾市桂町	構造	RC造、S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年7月8日
敷地面積	36,079 m ²	作成者	磯部 圭介
建築面積	1,867 m ²	確認日	2020年7月8日
延床面積	4,610 m ²	確認者	北 伸一朗

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.6 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>小学校という用途に鑑み、快適に授業を受けられるように光環境や熱環境に配慮した計画とした。また、将来的に教室用途が変更する可能性があることも考慮し、教室等の間仕切り壁を乾式工法とし、空間と仕上等の変更が容易にできる計画とした。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>教室内の安定した照度を確保するため、昼光率の値が高くなるように計画した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>将来の教室用途の変更に対応できるように建物階高にゆとりを持たせ、壁長さ比率を小さくするように計画することで、空間の自由度が大きくなるように計画した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>既存桂中学校と同様の勾配屋根を設け、外装材や色調も合わせて敷地全体として統一性のある建物デザインとした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物外皮の熱負荷抑制をすべく、[BPI][BPI_m]の値が0.8以下となるように計画した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>部材の再利用を促進すべく、躯体と仕上材が容易に分別でき、また、再利用可能なユニット部材を使用する計画とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐輪場利用者の利便性の配慮として、出入りしやすく、利用しやすい位置に駐輪場を配置した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0047

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	桂小学校						
	建設地	大阪府八尾市桂町						
	用途/区分	学校(小中高)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.2	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							